

第1回国立市南部地域整備基本計画策定市民検討会記録（要旨）

日 時：平成20年12月17日（水）午後7時00分～午後9時20分

場 所：くにたち南市民プラザ 多目的ホール

出席委員：39名

欠席委員：11名

傍 聴：4名

事務局：12名

会議資料：①国立市南部地域開発整備基本計画（昭和59年3月）

②市街地環境評価報告書（平成20年3月）

③国立市南部地域整備基本計画の策定について（平成20年8月）

④説明会議事録

司会進行：事務局（宮崎地域整備課長）

1. 開会挨拶（田辺都市振興部長）
2. 市民検討会の役割について（村山区画整理係長）
3. 資料説明（村山区画整理係長）
4. 資料に関する質疑応答（特になし）
5. 南部地域の課題について

委員からの主な意見等

- ・金銭的な裏づけを補足して説明してほしい。

市：国や都の補助金がある。実行するには財源確保が重要である。計画期間は10年だが、財政が厳しいので優先度合いに応じて予算を確保したい。

- ・この会は、原則として結論を求めるものではなく、計画素案は庁内検討会で作るということだが、意見調整を行いまとめるなどしないと意見の言いっ放しになる。通学路と広場の問題を毎年PTAとして市へ要望している。通学路の幅員が狭いのに交通量が多いという問題や特に甲州街道の歩道拡幅はできないと言われている。南部には児童館がない。土地が無いから造れないということだが、土地がなくて整備計画が作成できるのか。それと出席の市職員の部署を明示してほしい。

市：策定過程で多くの市民のご意見を伺うことは大切である。計画通りに進んでこなかった理由を課題として整理する。財政を考えると優先順位を付け多くの方が望んでいることを整理する必要がある。平成21年度に審議会を設置するが、市民検討会でお伺いしたご意見は審議会へ提出することにより活かされると考えている。市民検討会では市役所内の検討会で策定した計画素案のたたき台を基にご意見を伺いたいと考えている。この会は要望を取りまとめる会ではないので、要望は別の取り扱いとしてほしい。甲州街道の歩道拡幅は、都へ市と市議会から要望書を提出している。なお、職員の部署の明示は次回からは名札等で表示する。

- ・ 現行の基本計画のどの部分が進んでどの部分が進んでいないのか、その理由はなどの分析結果がないと意見が出せない。この会で、意見を出し結論を出して一定の方向性の整理をしなければと思う。50人も集まっている会なので効率的ではない。

市：分析結果は次回提示する。市民検討会で課題を整理して庁内で素案をつくり、意見交換しながら進めていく。
- ・ 計画は作っても予算がなく実現しない。会議だけは沢山行い意見は出すが、予算措置はどういう方法で行うのか。これまで南部は、民間の資金を使い行ってきた。やり方に沿えば進む。児童文化センターを建てることを視野に入れたらどうか。
- ・ 歩道が未整備で危ない。個別の意見は言えるが30年40年来の課題を市民に聴くのはどうか。児童館を造る、行き止まりの道路、警察のパトロールが少ないなどの個々の問題を解決して、作成していくことは理解するが、参加する部分がないとも思う。

市：点在した狭あい道路の拡幅整備や5地区の民間の土地区画整理事業が完了したという面もある。しかし、何故進まなかったのか、今何が優先されるのか、意見を聴きながら10年間で何ができるかを検討したい。
- ・ 都市計画道路3・3・15号線は、自治会としては現状の計画で道路を通すことに基本的に反対である。この会では、反対の意見ができるのか、どういう形で意見を取りまとめるのかが分からない。

市：通常は都市計画道路の計画が変更されることはない。他の道路ができて必要が無くなったという状況で見直されるということはあるとは聞いている。
- ・ インターチェンジの完成、日野バイパスも開通し、南北が分断され利便性や環境の問題を生んでいるが、その問題に触れていない。石神道は部分的な改善はあるが、今後土地が売りに出された時に積極的に用地を買い取る必要があると思う。日野バイパスが完成した今、具体的にどのような問題やひずみがあるか、新しい計画で是正していくということでなければ意味がない。市民の意見がどう扱われるかということ。昔からある住民にとって貴重な生活道路を潰す上でどうしたらいいのかということに市民が意見を出したのにそれに対する返しがなく、何だったのかと思う。日野バイパスはもう完成したのでどうこうではないが、何を直さなければならないか、どうしたら良くなるかを考えなければと思う。時代の変化や、日野バイパスができた等、大きな変化を捉えないと何のための議論かわからない。
- ・ 市役所入口から三中の横を通る石神道で昨年登校中の事故があった。やはり日野バイパスが開通して交通量が増えた。昨年12月に交通量を調査したが、通学時間帯の30分間に上り下り合わせて100~120台があつた。石神道は昔から幅員が広がるという話があったが、退避所ができたために逆に交通量が増えて危険になっている。市はどう考えているのか。石神道を拡げられないのであれば、スクールゾーンを検討しなければならない。予算のこともあり早急には進まないとは思いますが検討すべき課題と思う。

市：石神道は昭和36年に都市計画決定されたが進捗していない。交通量の増加もあり優先順位や整備手法について今後検討していきたい。

- ・石神道は都市計画道路としてではなく市独自で整備しようという考えはないか。こういう問題を残したままで、南部に緑と水のまちをつくらうと言われても実感が沸かない。今からでも道路幅員が6 mや7 mの道路を造ることを考えてほしい。歩行者の安全が第一で、緑や水は二の次と思う。

市：市施工の道路なので、市で意思決定すれば整備できる。石神道の交通量の減少対策として甲州街道から千丑道への右折を警察に要望している。

- ・市は道路を拓げるとき無償で用地の提供を求めるが、できれば売りたいと思う。予算を節約する施策をとっているのではないか。

市：道路中心から2 mのセットバック部分は寄付をお願いしている。道路幅員を6 mにすべく道路の中心から2 mまでを寄付願い、残りの1 mまでは赤道の付け替え等で対応している。そのほか赤道の売却代金は基金としている。

- ・課題は、大小いろいろなレベルが混在しており、どのレベルの話をしたらよいのか。昭和59年の計画が、計画通り進まなかったのは何故かということを教えてほしい。それで初めて課題が出てくる。進め方は合意を得てほしい。各自今日配布された資料を次回までに読むのか。今日出た道路等の意見以外の課題はどう整理するのか。市役所で整理されたものが何時提示されるのか。その場で資料を渡されて意見を言えではなく事前に資料配布してほしい。

市：配布した資料を読んで意見を言ってほしいということではない。今後検討してほしい中身は整理していく。会を円滑に進めたいので会の運営について意見を伺いたい。また参加者の意見を十分受け入れられるようにしたい。今日配布した資料は参考資料として使用してほしい。これまでの評価や課題整理を次回提示したい。8月の説明会資料に挙げた課題を基に、テーマによる分科会を立ち上げたい。人数構成やテーマ分け、次回以降の運営方法について考えたい。また、意見を出していただくだけでなく、その取り扱いについてももう少し丁寧な説明ができるような資料を準備したい。活発なご意見をいただける場作りをしていきたい。

- ・小人数のグループ議論は良いが、まず南部をどういうまちにしていきたいかを全体で決めた方が良い。また、次回までにこれまでの評価や課題整理を示してほしい。生活道路の不備や道路の課題は多いが、日野バイパスが住民の生活に不便をきたしているという面もあり道路一般では議論できない。身近な課題も大切だが、実践可能なものを議論していく必要があるのではないか。

南部の特徴は国立市に残された自然の財産という面もあるが、スプロール化が進んでいるので、中長期的に南部をどういうまちにするかということをも市全体的な視点で議論することが必要なので、議論しやすい材料を提供してほしい。

- ・財源について教えてほしい。

市：現在市議会に対して今後20年間の財政計画書案を示している段階なので、2月、3月頃には具体的な内容を提供できると思う。

- ・南部地域整備に必要な予算の数値は出ているか。

市：全体では積算していない。

- ・今まで百何十億円の民間資金を使っている。予算の話がないと何もできない。

市：財政が厳しい中でどのようなまちづくりをしていくかを考えたい。民間の投資もひとつのアイデアで、金額は第6回までの間で示したい。今回の見直しでは財源と計画を合わせて決めていきたい。

- ・公園や児童文化センター、通学路等、教育施設整備に関係した分科会のテーマがほしい。また水や緑の保全のテーマも必要だと思う。

市：分科会のテーマとして検討していきたい。

- ・今造ったものを子どもたちが管理していくことも見据え考えるべき。子どもがのびのび遊べる場所がない。開発が必要な所と不要な所を子ども目線で考えていければと思う。
- ・8月の説明会資料の7項目の課題の根拠を出してほしい。上位計画や関連計画で南部地域がどのように触れられているか資料として出してほしい。それを基に議論したい。水と緑は大事だと思うが、南部地域にそれを押しつけるのはおかしいと思う。

会議の資料は2週間程度前に配布してもらえないか。

市：1週間程度前には資料を送付する。法定として上位計画には従うが、横の個別計画に拘束されるということはない。上位計画の見直しの際に、意見を反映させることは可能と考えている。個別計画については既存の冊子を用意することはできる。

- ・各計画において南部地域に関係するものをピックアップしてほしい。児童館の要望をした時に、当時の市長から、緑の基本計画に拘束され、児童文化センターを造るのではなく体験水田を残すと回答された。そうならないように関連する計画に南部地域のことがどう書かれているか知りたい。
- ・分科会方式は賛成するが、課題は書いて持ち寄る等、整理した上で議論したい。

市：分科会のテーマと概要についての資料を事前に送付する。分科会を設ける前提で進めたい。

- ・参加者全員に発言していただいてはどうか。

市：少人数の分科会の中で意見を出していただければと思う。

- ・分科会方式は良いと思う。最初に南部地域をどうしていくかという大きな議論をしてから分科会に入る方式を提案する。

市：分科会のテーマは事前に提案させていただき、次回の冒頭30分程度で分科会の内容や進め方等の意見を伺い、その後分科会に入るということで、今回は進めたい。

6. 第2回及び第3回の市民検討会の開催は、次第のと通りの日程で確認された。

第2回：平成21年1月31日（土）午後1時30分から

第3回：平成21年2月25日（水）午後7時から

以上